

3月議会を終わって

党議員団長

杉本 敏宏

2月28日から3月28日までの約1ヶ月にわたって、3月議会の中心議題は、新年度予算案の審議です。06年度予算は、木浦市長2期目最初の予算であり、同時に合併2年目の予算です。しかし提案された予算案は、柱が見えない、合併して何をしようとしているのか良くわからないものでした。その上、「財政難だ」といいながら、新市建設計画では950億円で運営していきますといいながら、1033億円もの膨張予算を組むという無謀さです。「お金がない」のではなく、使い方がおかしいのです。

また今議会には、

有事法制の具体化である国民保護対策本部等を設置するための条例と国民保護協議会に係る条例が提案されました。今後、国民保護計画が策定

はなくて、使い方がおかしいのです。

個々の施策では、福祉タクシー券助成額の増額や幼児医療費5歳までの拡充をはじめ、耐震改修の補助金、アスベスト調査補助金の拡充など、党と議員団がこの間要求してきたものがいくつも実現しました。とりわけ、今冬の豪雪対策では、議員団の提案の大部分がとり入れられました。

その一方で、下水道料金と農業集落排水料金が大幅な値上げになり、介護保険料も国の施策の結果とはいえ大幅に引き上げられ、高齢者や弱者に負担がしわ寄せされたのも特徴でした。

され、町内会や学校をも巻き込んだ訓練が行われる危険性があります。政府自身が、「今すぐ外国から攻められる危険性はない」と言っており、保護計画は机上の空論でしかありません。近隣諸国との間で平和外交を進めることが最良です。議員団では、本会議で、委員会審査でそれぞれ、前進面を評価しつつ、これらの問題点を指摘し、市民の暮らしや福祉を守るための論戦を展開しました。3月議会には、全部で88の議案が提案されましたが、この内、一般会計予算など11議案に反対しました。請願2件は、議員団3人だけの賛成で不採択になりました。



りりしく、そして美しく

一日の成人式では、秋山紗弥香さん、高野岳人さん、古海乃々さんが二十歳の誓いの言葉をのべました。



左から古海さん、秋山さん、高野さん
(2006年4月1日、リージョンプラザで)

樋口議員が代表して反対討論

3月28日の定例議会最終日、日本共産党議員団を代表して樋口議員が新年度一般会計予算、介護保険特別会計予算など11議案に対する反対討論を行いました。

新年度一般会計予算については、幼児医療費助成対象の拡大、障害者自立支援法による負担増に対する市独自の補助制度創設など評価できることがあるとしながらも、市民の暮らしや労働者の権利がおびやかす「行政改革」路線に基づいていること、小泉政権の庶民大増税と社会保障の連続改悪が進められ、社会的貧困と格差の新たな広がりがすすんでいるもとの、これに立ち向かい、市民の暮らしを守る防波堤の役割を十分果たしていないこと、

憲法違反の国民保護法に基づいた施策を推進していること、新市建設計画と大きくかけ離れた財政運営をしていることを理由にあげて反対しました。

日本共産党上越市議員団ニュース

45	2006年4月9日
連絡先	杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
	樋口良子 544-6802 (中門前3)
	橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)